

編纂事業の進捗状況

畠田 修

はじめに

百五十年史編纂事業の進捗状況報告の八回目である。今回は、二〇一七年一月から二〇一八年九月末まで（二〇一七年度後期と二〇一八年度前期）の状況を報告する。以下、編纂委員会、編纂専門委員会、第一巻編集会議での議論を中心に説明していきたい。

一 二〇一七年度後期の状況

(一) 各委員会の概要

二〇一七年度後期（二〇一七年一月～二〇一八年三月）は、編纂委員会が一回、編纂専門委員会が二回行われた。以下、各回の概要（日程、議題等）を開催日順に示す。なお、二〇一七年一〇月の出来事については前回分で報告をした。

○編纂専門委員会（二〇一七年度第三回）一月二二日、一二時一五分～一三時三〇分、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。委員の出席者は六名。

〈協議事項〉 1. 編集・執筆体制およびスケジュールの件／2. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆の件／3. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針の件／4. Wikiシステム構築・運用の件

〈報告事項〉 1. Web版資料集の件／2. 資料調査・収集状況の件／3. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況の件／4. 大学関係者聞き取り調査の件／5. 早稲田大学大学史セミナーの件

○編纂委員会（二〇一七年度第二回）一二月二〇日、一二時一〇分～一三時、九号館第二会議室にて開催。委員の出席者は一一名。

〈協議事項〉 1. 編集・執筆体制およびスケジュールに関する件／2. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆に関する件／3. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針に関する件／4. Wikiシステム構築・運用に

関する件

〔報告事項〕 1. 早稲田大学百五十年史編纂専門委員会の報告に関する件／2. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議の報告に関する件／3. 『早稲田大学百五十年史』執筆要領およびマニュアルに関する件／4. Web版資料集に関する件／5. 資料調査・収集状況に関する件／6. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況に関する件／7. 大学関係者聞き取り調査に関する件／8. 早稲田大学大学史セミナーに関する件／9. 執筆担当専任教員の負担代替に関する件

○編纂専門委員会（二〇一七年度第四回）二月一六日、一四時～一五時四〇分、大隈会館N三〇五会議室にて開催。委員の出席者は五名。

〔協議事項〕 1. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆の件／2. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針の件

〔報告事項〕 1. 編集・執筆体制およびスケジュールの件／2. Wikiシステム構築・運用の件／3. Web版資料集の件／4. 資料調査・収集状況の件／5. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況の件／6. 大学関係者聞き取り調査の件／7. 早稲田大学大学史セミナーの件

（二）各委員会での議論の内容

以下、各委員会での主な議論を適宜項目に分け、まとめていく。

① 編纂日程に關して

W i k i システムの活用のため、編纂日程の変更について提案があり（W i k i での校閲等を組み込むため、各巻の刊行時期を二年先に設定）、編纂委員会において承認された。

② 編集・執筆の進展

第1巻については、これまでの方針を変更し、主に第1部・第2部を優先的に書き進めることが専門委員会で確認された。第2巻については、特に検討を要する事項である「大学紛争」と「新キャンパス問題」に關し、執筆に際しての基本方針、資料状況、検討課題などを協議し、また、今後調査を要する事項として「学生の状況」を挙げ、入試、授業、スポーツ・サークル活動、卒業後の進路、校友会など具体的なテーマを整理し、資料状況や検討課題などを協議した。

③ W i k i システムの構築・運用

『早稲田大学百年史』閲覧・検索システム（百年史W i k i）の一般公開を開始した。一方、百五十年史に關しては、通常版と投稿版の二本立てで進めることとし、今期は主に通常版の要件整理を行った。また、管理・責任主体については、通常版を百五十年史編纂委員会、投稿版を文化推進部が担うこととし、今後さらに関係各所との連携を考えながら進めることを確認した。

④ Web版資料集の作成

早稲田人名データベース、学校設置関係データベース、『早稲田学報』記事データベース等の作業進捗状況について報告した。また、戦争犠牲者データベースについては、「早稲田大学文化資源データベース」での公開を開始した。

⑤ 資料の調査・収集

退職教員や卒業生のご遺族より資料の寄贈を受けたこと、また、法人会議資料の閲覧について、法人課と運用ルールの取り決めをしたこと等を報告した。聞き取りについては、三木妙子元法学部教授にインタビューを行った。また、聞き取り済みデータの原稿化に向けて編集作業を行ったことを報告した。

⑥ 情報発信

『早稲田大学史記要』第四九卷（二〇一八年三月）に、第三回大学史セミナー（浅古弘氏）の講演録を掲載した。また、百年史Wikiを一般公開した。

二 二〇一八年度前期の状況

(一) 各委員会・会議の概要

二〇一八年度前期（二〇一八年四月～九月）は、編纂委員会が一回、編纂専門委員会が二回、第1巻編集会議が二回行われた。以下、各回の概要（日程、議題等）を開催日順に示す。

○第1巻編集会議（第八回）五月二三日、一二時三〇分～一四時〇〇分、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。
会議メンバーの出席者は一〇名。

〈協議事項〉 1. 編集・執筆体制およびスケジュールの件／2. 執筆内容・方法および分担の件

○編纂専門委員会（二〇一八年度第一回）六月五日、一二時一〇分～一三時二〇分、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。委員の出席者は四名。

〈協議事項〉 1. 二〇一八年度編集体制および編集計画の件／2. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆の件／3. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針の件／4. 退職教職員の編纂専門委員嘱任の件／5. 早稲田大学大学史セミナーの件

〈報告事項〉 1. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議の件／2. Wikiシステム構築・運用の件／3. Web版資料集の件／4. 資料調査・収集状況の件／5. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況の件／6. 大学関係者聞き取り調査の件

○編纂委員会（二〇一八年度第一回）七月四日、一二時一〇分～一三時、大隈会館N二〇一会議室にて開催。委員の出席者は一〇名。

〈協議事項〉 1. 編纂専門委員選出に関する件／2. 二〇一八年度編集体制および編集計画に関する件／3. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆に関する件／4. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針に関する件／5. 『早稲田大学百五十年史編纂専門委員会運営要領』改定に関する件／6. 退職教職員の編纂専門委員嘱任に

関する件

〔報告事項〕 1. 早稲田大学百五十年史編纂委員に関する件／2. 早稲田大学百五十年史編纂専門委員会の報告に関する件／3. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議の報告に関する件／4. Wikiシステム構築・運用に関する件／5. Web版資料集に関する件／6. 資料調査・収集状況に関する件／7. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況に関する件／8. 大学関係者聞き取り調査に関する件／9. 早稲田大学大学史セミナーに関する件／10. 執筆担当専任教員の負担代替に関する件

○第1巻編集会議（第九回）七月二四日、一二時三〇分～一四時、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。会議メンバーの出席者は九名。

〔協議事項〕 1. 執筆分担の件／2. 執筆内容・方法の件

○編纂専門委員会（二〇一八年度第二回）九月一四日、一〇時～一一時三〇分、99号館（STEP21）六階会議室にて開催。委員の出席者は六名。

〔協議事項〕 1. 『早稲田大学百五十年史』第1巻の編集・執筆の件／2. 『早稲田大学百五十年史』第2巻の編集方針の件

〔報告事項〕 1. 『早稲田大学百五十年史』第1巻編集会議の報告の件／2. Wikiシステム構築・運用の件／3. Web版資料集の件／4. 資料調査・収集状況の件／5. 法人会議資料の目録化・デジタル化状況の件／6. 大学関係者聞き取り調査の件／7. 早稲田大学大学史セミナーの件／8. 執筆担当専任教員の負担代替の件

(二) 各委員会・会議での議論の内容

以下、各委員会・会議での主な議論を適宜項目に分け、まとめていく。

① 編纂体制に関して

編纂委員の改選があり、新任委員五名の紹介を含め、確認があった。また、編纂専門委員の選出があり（七名）、承認された。その際、「早稲田大学百五十年史編纂専門委員会運営要領」の改定、および、退職教職員の編纂専門委員嘱任について提案をし、承認された。事務局メンバーについては、四月に第1巻担当の非常勤嘱託職員（一名）、第2巻担当の非常勤嘱託職員（一名）の就任（交代）があった。また、広報・庶務業務を受け持つ専任職員（一名）がメンバーに加わった。

② 編集・執筆の進展

第1巻については、四月から新たに加わった執筆メンバーの担当項目（主に第3部、第4部）を検討・調整し、さらに全体にわたり分担を調整し、執筆を進めた。第2巻については、重要事項を組み込んだ時期区分案と構成案を提示し、協議を進めた。

③ Wikiシステムの構築・運用

百年史（公開済）と百五十年史通常版および投稿版などを有機的に結合した包括的なWikiシステムの構築をめざし、主に『早稲田大学百五十年史』編集・公開システムについて要件整理を進めた。

④ Web 版資料集の作成

早稲田人名データベース、『早稲田学報』記事データベース等の作業進捗状況について報告した。また、学校設置関係データベースは、資料画像の公開に向け資料のデジタル化に着手したこと、課程表・学科配当表データベースは、第1巻対応分のデジタル化が完了したことを報告した。

⑤ 資料の調査・収集

退職教員より資料の寄贈を受けたことを報告した。また、聞き取り調査については、今後の調査計画を示すとともに、商学部不正入試関係の調査（インタビューの打診）については難航していること、聞き取り済みデータの原稿化については次号の『早稲田大学史記要』に掲載すべく編集作業を行っている旨を報告した。

⑥ その他の事項

執筆担当専任教員の負担代替について、原稿料を支払う段取りができた旨を報告した。また、本件に関しては、授業コマ数軽減という点でも引き続き検討していくことが確認された。

おわりに

この一年、第1巻については草稿執筆作業が進み、また第2巻については構成案が検討されるなど、百五十年史が、より具体的に、より広いスパンで見えつつある状況に入ってきた。他方、百年史 Wiki の公開や百五十年史 Wiki

iの構築準備などを通して、「新しい大学史」というものをあらためて模索した一年でもあったであろう。

次の一年は、いよいよ第1巻の執筆・編集作業が佳境に入る。また、聞き取りをはじめとする各種調査については、解決すべき課題が数多く残されている。引き続き、編纂事業のさらなる進捗をはかるべく、日々取り組んでいきたい。